

高齢福祉部会

部会長 向山 弘司

現代社会では少子高齢化が大きな社会問題となっていますが平群町でも高齢化率が三九%と全国平均より十ポイント高い実情です。特に西山間では五十%を超える地区もあります。

地域の高齢者を支えるため部会活動として、一人暮らし高齢者の見守り、介護に関する相談、福祉サービスの紹介など多岐にわたる内容に対して、より質の高い支援を提供したいと思っています。

令和八年度は、委員自身の知識やスキル向上を目指し次の項目に取り組みます。

- 一、高齢者福祉サービス制度の研修
- 一、県営福祉パークにて介助体験
- 一、近隣地区との部会交流会



地域住民の「見守り役」「相談役」行政へのつなぎ役」を担い健康で安心して安全な生活を続けていただくことをサポートしたいと思います。

児童福祉部会

部会長 向井 眞澄

児童福祉部会は、0歳児から十八歳までの子供を対象とした活動に取り組みます。

先ず活動の基本を知る為に平群町内の小・中学校・保育施設の概要や実情を把握する勉強会や施設見学を実施します。

子育て支援センター主催の「お出かけトントン」「親子でウキウキタイム」に参加協力します。

町内3小学校から平群中学校へ入学する「6年生交流会」に参加。

その他、前期から引き続き「ヤングケアラー」「不登校」などの課題に対する学習を重ねていきます。



各種団体と連携・協力して平群の子供たちが楽しく安心して暮らせる環境づくりのお手伝いや、児童福祉部会が出来る対応を検討したいと思います。

障がい福祉部会

部会長 城 光良

障がい福祉部会では、活動の基本として障がいを持っている方が安心して生活できる地域づくりのために「適切な支援につなげる」知識や情報を取得できるように取り組んでいます。

- 一、障がいの種類、マークの学習
- 一、あいさ波特約研修
- 一、福祉ボランティア団体との交流
- 一、県営福祉パーク体験
- 一、大空の家まつり参加協力
- 一、部会会議随時



令和八年度は、これらの体験学習を通して障がいのある方との交流を深めながら、相互理解につながる支援活動を目指してまいります。

5月12日は民生委員・児童委員の日です
活動強化週間 5月12日～5月18日



主任児童委員

井上 眞理子

主任児童委員は、平群町内で暮らす全ての親子を対象に、児童福祉に関する事項を専門に担当します。一九九四年に設置、制度化され、町内に二名が配置されています。

今日、地域における繋がり希薄化や核家族化の進行で周囲に頼れる人がいない環境で子育てをしている保護者や、学校・家庭以外で大人と関わる機会が少ない子どもが増えています。

地域の中で誰かと繋がっていることを実感しながら笑顔で生活を送ることができるような地域作りを目指します。

「赤ちゃん誕生おめでとう訪問」「なかよし教室・子育て支援センター・健康課の事業」に協力、「各学校・園との懇談」「子育て相談・訪問・支援」などを、各地区の民生児童委員と連携しながら活動していきます。



赤ちゃん訪問

赤ちゃんが生まれた家庭に主任児童委員とその地区の民生児童委員が記念品をもってご挨拶に伺います

防災委員会

委員長 榮 一昭

近年、各地で大きな自然災害が相次いで発生しており全国民生・児童委員連合会より改めて意識すべき活動の基本三点をあげています。

- ①災害の発生が迫っている場合や発災直後は自らと家族の安全確保が最優先
- ②平常時において、地域ぐるみの要援護者の支援体制づくり協力する
- ③発災後、安全が確保できた後、無理のない範囲で要援護者支援に協力する

令和八年度防災委員会活動計画内容

- ・施設研修 * 県営福祉パーク
- ・協力行事 * 社会福祉協議会の災害時におけるボランティア活動と各種団体協働の防災フェスタ参加
- ・民生・児童委員協議会による震災を想定した実施訓練
- ・防災委員会会議 都度開催



民生委員・児童委員とは

厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める役割を担っています。また、「民生委員」は「児童委員」を兼ねることとされています。個人の秘密は厳守です。

民生・児童委員の主な仕事

